



2026年3月18日

各位

会社名 INTLOOP株式会社
代表者名 代表取締役 林 博文
(コード: 9556、東証グロース市場)
問合せ先 取締役管理本部長 内野 権
(E-mail: ir@intloop.com)

クロスシステムサービス株式会社の株式の取得(子会社化)に関するお知らせ

INTLOOP株式会社(以下、「当社」)は、本日開催の取締役会において、以下のとおり、金融機関向けのDX化支援、ITソリューションの提供に強みを持つクロスシステムサービス株式会社(以下、「CSS社」)の株式を取得し、当社の連結子会社化とすることについて決議いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

1. 株式の取得の理由

当社グループは創業以来、コンサルティング企業としてクライアントの経営課題の解決を支援してきました。近年、企業のDX推進に伴いIT人材不足が社会課題となる中、当社グループは大手企業中心のクライアントに対し、正社員エンジニアやコンサルタントが稼働する従来型モデルに加え、柔軟性と専門性を兼ね備えたプロフェッショナルフリーランス人材に着目したハイブリッドモデルによるコンサルティングサービスをご提供することで成長を遂げてまいりました。正社員人材の構想力・推進力と、プロフェッショナルフリーランス人材の機動力・専門性との2軸を融合させた独自のビジネスモデルを構築してきました。

また、当社グループは、中長期経営計画「INTLOOP“VISION2030”」にて公表させていただいたとおり、2030年7月期に「先端技術とタレントの統合ソリューションプラットフォーム」となることを目指しています。この実現に向け、インダストリーおよびソリューションの両面から事業基盤の拡張を進めております。とりわけ金融業界は高度なITソリューションへの需要が拡大するなどDX投資が加速している一方、IT人材不足も深刻化しており、高いポテンシャルを有する重点領域と位置付けております。当社グループはこれまで、金融業界においても戦略・ITコンサルティングに加え、システム開発やインフラ構築のエンジニアリング領域まで含めたサービス提供体制の強化、顧客基盤の拡大に取り組んでまいりました。

このような中、本件は当社グループの金融領域におけるプレゼンスを高めると共に、コンサルティングから実装・運用まで一気通貫での提供体制を強化するための戦略的なM&Aと位置付けております。本件により当社グループは、金融業界における一層のソリューションの拡充、競争力の強化を目指します。

CSS社は、金融機関向けITサービスに強みを持つ大手SIer出身者を中心に設立され、ITインフラ構築からアプリケーション開発まで一貫して対応可能な高い技術力と実装力、豊富な実績を有しています。また、長年にわたり大手金融機関との直接取引を継続しており、高品質なサービス提供を通じて強固な顧客基盤を構築してまいりました。

CSS社の強みは、単なる技術力にとどまらず、金融業界特有の業務・規制理解に基づく課題解決力と、長期的な信頼関係に裏付けられた継続的な取引実績にあります。これらは短期的に構築することが難しく、参入障壁の高い競争優位性であると認識しております。近年、IT業界においてAI駆動開発など急速なテクノロジーの発展により取り巻く環境は急激に変化しておりますが、CSS社が提供するサービスはAIにより容易に代替できないものであり、その需要は今後も高まり続けると見込んでおります。

当社グループは、本件により以下のシナジー創出を見込んでおります。

- (1) 当社グループの戦略・IT コンサルティングと CSS 社のエンジニアリングを融合した高付加価値サービスの提供、大規模・高収益案件の獲得
- (2) CSS 社の顧客基盤へのクロスセルによる売上拡大、付加価値の向上
- (3) 当社グループの人材プラットフォームを活用したリソース供給力の強化と案件獲得力の向上
- (4) 上場会社グループとしての信用力を活用した取引拡大、人材採用の強化、経営管理体制の強化

これらの取り組みにより、金融業界における当社グループのポジションを一段と引き上げるとともに、持続的かつ高収益な成長の実現を目指していく所存です。さらに、CSS 社の強みである大手金融機関を中心とする事業基盤および顧客との信頼関係を維持・発展させつつ、当社グループのリソース・ノウハウとの融合を図ることで、シナジーの早期実現および企業価値の最大化に取り組んでまいります。

2. 異動する子会社（クロスシステムサービス株式会社）の概要

(1) 名 称	クロスシステムサービス株式会社			
(2) 所 在 地	東京都千代田区外神田 3-6-4			
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役社長 鎌田 智広			
(4) 事 業 内 容	金融機関向けのシステム開発・インフラ構築			
(5) 資 本 金	40 百万円			
(6) 設 立 年 月 日	2011 年 4 月 1 日			
(7) 大株主及び持株比率	株主は個人 4 名となりますが、当事者との秘密保持の合意により非開示としています。			
(8) 上場会社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はありません。		
	人 的 関 係	該当事項はありません。		
	取 引 関 係	該当事項はありません。		
(9) 当該会社の最近 3 年間の経営成績及び財政状態				
	決算期	2023 年 9 月期	2024 年 9 月期	2025 年 9 月期
	純 資 産	249 百万円	290 百万円	343 百万円
	総 資 産	528 百万円	532 百万円	566 百万円
	売 上 高	900 百万円	771 百万円	826 百万円
	営 業 利 益	30 百万円	50 百万円	69 百万円
	経 常 利 益	28 百万円	54 百万円	76 百万円
	当 期 純 利 益	29 百万円	41 百万円	52 百万円
	1 株 当 たり 純 資 産	1, 245, 881 円	1, 451, 966 円	1, 716, 201 円
	1 株 当 たり 配 当 金	—	—	—
	1 株 当 たり 当 期 純 利 益	146, 934 円	206, 084 円	264, 236 円

3. 株式取得の相手先の概要

(1) 氏 名	個人 4 名
(2) 住 所	非開示
(3) 上 場 会 社 と 当 該 個 人 の 関 係	該当事項はありません。

4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

(1) 異動前の所有株式数	0 株 (議決権の数：0 個)
---------------	--------------------

	(議決権所有割合：0.0%)
(2) 取得株式数	200株 (議決権の数：200個)
(3) 取得価額	CSS社の普通株式： 売主からの強い要請により、株式取得価額については非開示とさせていただきます。なお、本件の株式取得価額は当社の直前期における連結純資産の15%未満であります。 アドバイザー費用等(概算)：13百万円
(4) 異動後の所有株式数	200株 (議決権の数：200個) (議決権所有割合：100.0%)

5. 日程

(1) 取締役会決議日	2026年3月18日
(2) 契約締結日	2026年3月18日
(3) 株式譲渡実行日	2026年3月31日(予定)

6. 今後の見通し

本件株式取得による当社連結業績への影響は軽微であります。

以上